



新ゴリラ日記



vol.91

2024年11月

＊ 最近のゴリラたち ＊

先月下旬、夜間にモモタロウとの闘争で怪我をしたゲンタロウ。自分で触ってしまうため、傷の範囲は当初より広がっていますが、額の傷の深かった部分はだいぶ浅くなってきていますし、その他の浅い傷に関しては少しずつ新たに黒い皮膚が再生している所もあります。元々ゴリラたちの傷の回復は、ヒトよりもかなり早いです。触りさえしなければ…と思いますが、今のところ化膿もなく順調に治ってきています。

今月初めには朝の気温が下がってきたため夜間放飼は終了しましたが、少しでも闘争が起こるのを避け、起こっても大きな怪我に繋がらないように、部屋をこれまでよりも1部屋多く開放し、シュートも開放する部分を増やしてゴリラたちの様子を見ています。今回の闘争後、しばらくは日中に今まで以上にゲンタロウがモモタロウを意識してディスプレイをしていましたが、それも少しずつ落ち着いてきています。夜間に闘争があった様子もその後見られていません。

こういうことは年頃の個体がいる以上ある程度は避けられないと思いますが、大きな怪我や精神的負担に繋がらないよう、4頭それぞれができるだけ幸せな環境で長く過ごせるよう、これからもゴリラたちの様子を見ながら管理の方法を考えていきたいと思っています。



↑11月5日朝、フィーダーに取り組むゲンタロウと、奥で担当者に落花生をもらおうと待っているモモタロウ。もう絶対に同じ部屋にはいられない！というわけではありません。時と場合によるのです。

✿ 父と次男の日常 ✿

メイングラウンドとサブグラウンド間の扉部分に座るモモタロウを見つけるキントロウ。この場所はモモタロウのお気に入りの場所なので、よくここに座っているのですが、実はキントロウがメイングラウンドとサブグラウンドを行き来しようとする際、モモタロウに怒られて行かせてもらえないことも多いのです。モモタロウが怒るのは、おそらくキントロウがよく通りすがりにモモタロウの背中やお尻を叩くなどのちょっかいをかけていくからだと思います（笑）普段からキントロウが傍にいるときはできるだけ背後をとられないように動いています。キントロウの自業自得な部分もあると担当者は思っているのですが1日に何度も通せんぼをされているのを見かけられることもあるので、たまにエサでモモタロウの気を引いて、その際にキントロウが通れるようにしています（^_^;）



↑ 何度も怒られているのに、行き来をやめないのもキントロウらしいなと思っています（*´艸`）

～今回の一枚～

「だいぶ小さく…」

キントロウの後ろ姿。お尻にある白い毛、ベビーシグナルがだいぶ小さくなってきました。これがなくなると、これまで大目に見られていた順位を無視した行動が少しずつ許されなくなってきます。ゲンタロウだけでなく、キントロウも着実にオトナへの階段を上っています。

